

大田区立安方中学校教育目標

教育基本法、学校教育法および中学校学習指導要領、東京都や大田区の教育目標の趣旨を踏まえ、新しい時代を創造するのにふさわしい心豊かでたくましい生徒を育成するために、次の目標を設定する。

- ・学ぶ
・鍛える
・思いやる

- 学校、地域の実態
○地域の期待や願い
○保護者の期待や願い
○期待される生徒像

- 日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○中学校設置基準
○中学校学習指導要領
○東京都教育目標
○大田区教育目標
○おおた教育振興プラン等

各教科の指導の重点

基礎学力・自ら学ぶ・自ら考える

国語
社会生活に必要な言語能力を育成するために、ものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話し、聞き、書くなどの「伝え合う力」を養う。

社会

視覚的教材を活用し、基礎的事項を理解させる。課題解決学習を推進し、資料活用能力、思考力、判断力を育成し、論理的・総合的にまとめられるようにする。

数学

生徒のつまずきを発見し、それを解決するために少人数・習熟度別指導を展開し個に応じた指導の充実を図る。学習カルテや学習カウンセリングを活用し、基礎学力の徹底を図る。

理科

自然体験と日常生活の中での科学技術との関連を図り、目的意識をもった観察・実験を通して、科学的な見方・考え方や総合的なものの見方を育成する。

英語

少人数・習熟度別指導やALTの活用を通して、自らの意見や考えを表現する力等、英語によるコミュニケーション能力を育成する。

音楽

合唱、合奏等の表現活動を充実させ、音楽文化についての理解を深める。また、和楽器の演奏を通して、日本の伝統音楽の良さを味わわせる。

美術

絵画等の創造活動に重点を置き、各コンクール等に出品する機会を多く設定し、創造の喜びを味わわせ、豊かな情操を養う。

保健体育

体力向上プログラム等を活用し、小学校との接続を考慮しながら運動の合理的な実践を通して、体力と運動能力の向上を図る。

技術・家庭

ものづくり教育を推進し、ものづくりや衣食住等についての実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識および技術を習得させる。

学校経営計画 (学力向上の要点)

- 1 目指す学校像
○主体的・対話的で深い学びの実現により生きる力を養う
○自己有用感、自己肯定感を高める
○生徒の主体性と自治の力を高める
○生徒の健全育成を図る
○あいきつが進んでできる
○ボランティアを育む
2 目指す生徒像
・主体的に学ぶ意欲と姿勢をもち、課題解決と自己実現に真剣に取り組める生徒
・思考力・判断力・創造力を高める意識が旺盛な生徒
・感動する心と心豊かな感受性をもち、自らを律することができる生徒
・自他ともに大切にし、地域や社会に貢献できる生徒
3 学力の定着と学習意欲の向上の方策
①わかる授業を実践し、基礎学力の定着、思考・判断・表現力の育成
②朝読書・朝読書(学習オリンピック)の推進
③授業力の向上・授業改善
④少人数制授業等、個に応じた指導の充実
⑤補習の充実やステップ学習の活用
⑥学習意欲に繋げる適正な評価の実施
⑦諸テストの活用、面談の充実
⑧持ち物・家庭学習等の授業規律の徹底
⑨ALT、学習指導講師の活用
⑩授業時数の確保
⑪家庭学習の充実
⑫言語活動の充実
⑬ICT機器の活用の充実
⑭主体的・対話的で深い学びの実現
⑮オリンピック・パラリンピック教育の推進

道徳教育指導の重点

- ・「生きる力」の核となる豊かな人間性と社会性を育てるために、人間尊重・人権尊重を柱に、「生命尊重週間」を設定し、自他の生命を大切にすると実践力を育成する。
・道徳教育推進教師を中心に道徳の全体計画および道徳の時間の年間指導計画に基づいた道徳教育を推進する。道徳授業地区公開講座の活用等を通して、道徳の時間を確保・充実させるとともに、生徒に主体性のある日本人としての生き方を考えさせ、勤労の尊さや意義、奉仕の心の大切さを学ばせる等、豊かな体験を通して道徳実践力を高めさせる。
・家庭・地域と連携・協働し、地域の人材をゲストティーチャーとして招聘し、大田区民としての自覚や誇りをもたせ、地域防災訓練の活動等をはじめとして地域参画・ボランティア活動のできる生徒を育成するとともに、規範意識向上プログラムに基づき、基本的な生活習慣と規範意識を身に付けさせる。
・3年間を見通した年間指導計画を作成し、「私たちの道徳」や「心みつめて」の効果的な活用を図る。

特別活動の指導の重点

- ・生徒の自主的・自治的活動をより推進させるために、生徒会の総務会・専門委員会のあり方を考えさせ、生徒による企画・運営を支援する。
・教科・領域と関連付けながら、生徒会を中心に矢口特別支援学校や安方中学校区の小学校等異年齢集団との交流等、ボランティア活動を中心とした体験学習を推進し、社会奉仕の精神を養う。
・文化的行事、健康安全・体育的行事で、生徒に企画、立案、運営を分担させ、責任感や連帯感を涵養する。
・集団や社会の一員としての在り方や健康・安全、生き方や進路について考えさせ、入学時にガイダンス等を行い、学校や学級への適応を図る。

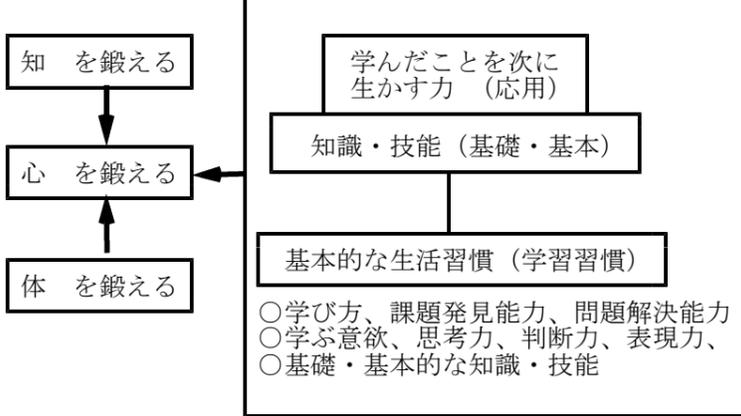
安方中学校における「確かな学力」

安方中学校では中学校学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、次の力を育成する。

○学ぶ

主体的に学ぶ意欲と姿勢をもち、課題解決と自己実現に向けて取り組み。

確かな学力



生活指導の重点

- ・全教員が生徒理解を基本としたカウンセリングマインドを身に付け、生徒の声に耳を傾け、生徒自らが悩みを解決できるよう指導・支援する。年2回の「子どもの心サポート月間」と生徒のメンタルヘルスチェックを重点的に活用し、個人面談で生徒本人と保護者と共通理解を図り、改善策を共に講ずる。
・生きることのすばらしさに気付かせ、自他の生命を尊重する態度を育てる。
・地域防災訓練等を活用し、災害時にとるべき行動の指導を徹底し、災害時には主体的に協力する態度を育成する。
・本校の「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止と早期発見・解決のために、年に3回アンケートを実施する。
・不登校問題解決要綱に基づき、欠席ぎみの生徒に対して、学級担任やスクールカウンセラーおよび学校特別支援員とともに共通理解を図り、不登校を防ぐ指導・支援を行う。

進路指導の重点

- ・キャリア教育をもとに、全教育活動を通じて計画的に推進し生徒の自律・自立を促す。
・生徒一人一人が自らの生き方を考え、生涯にわたって自己実現を図れるよう、自己理解を深めさせる。
・3年間を通じて、職業調べ、職場体験、上級学校訪問等の活動を取り入れ、生徒が主体的に進路を考え選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けさせる。

総合的な学習の時間の指導の重点

- 「LIFE」の大テーマのもと、
・Learning:学び方を学ぶ
・Identity:他者とのかかわりから自己の生き方を考える。
・Feelings:日本人としての感性を磨く。
・Ecology:環境と人間の生き方を学ぶ。
を小単元とし、各学年の発達段階に即したテーマを決定し、作業や体験を通して解決する意欲や態度を育成する。

安方中学校の授業改善に向けた視点

Table with 5 columns: 指導内容・指導方法の工夫, 教育課程編成上の工夫, 校内における研究や研修の工夫, 評価活動の工夫, 家庭や地域社会との連携の工夫. Rows include details like '少人数学習集団', '週時程上の朝読書', '授業公開', '授業診断アンケート', '基本的な生活習慣の形成'.